

ノーサイド

北原 巖 男

一瞬、「令」の字に驚いた皆さんも多いのではないのでしょうか。私もその一人です。元号に「令」の字が使われるのも初めてのことです。

ちなみに「令」の字形、下の部分は「マ」も正しいとのことです。

官房長官に続いて安倍首相は、直接国民に語り掛けました。

「……この「令和」には、人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つという意味が込められていま

す。…厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりの日本人が、明日への希望とともに、それぞれ

の花を大きく咲かせることができる。そうした日本でありたい、との思いを込めたこととす。

「令和」に決定いたしました。…この新しい元号も、広く国民に受け入れられ、日本人の生活に深く根差し

て行くことを心から願っています。

…よい月。正月をほめてい

います。」
テレビは、号外に一気に殺到する人々の姿や商魂逞しい「令和」商品が急ピッチで生産されて行く様子を伝えています。

「びっくりしました!」、
「早速君の時代が来たなど言われています」など、突

然のことに興奮を抑えきれずに語る全国の「令和」さん達へのインタビューも。

今回は、どんな元号になるのかAIを含めた予想が

出 発

盛んでした。国書から選ばれるのではないかと、日本書記か?古事記か?

等々。
予想イベントで愛知の20代の男性が的中させたというから驚きです。(4月2日付け毎日新聞) 出典は、

「万葉集」巻五、梅花の歌三十二首の序文。

「初春の令月(れいげつ)は仲春令月、時和氣清(ときわき)に於いて、仲春の令月、

増しています。

った。)にして、気(きき)あたりの気配(きはい)淑(よ)く風和(かぜやわら)く。梅は鏡前(きやうぜん)の粉(こな)を披(ひら)き、

蘭(らん)・よい香りの草の総称(そうしょう)は瓊後(はいご)・珮(はい)は、じゃ香や香木の類を袋

に入れて腰に下げたもの。後(ご)は、対句として用いた字

で、意味は軽い)の香(か)を薫(かお)らす。…初春の正月の良い月で、

気(き)は良く風(かぜ)は穏(おだ)やかである。梅は鏡(かがみ)の前の白粉(しろこな)おしろ

い)のように白く咲き、蘭(らん)は匂(にお)い袋(ふくろ)のように香(か)って

いる(「万葉集(2)」日本古典文学全集 昭和47年5月小学館刊より)

なお、「これと似た漢文が、万葉集(780年頃成立)以前の中国の詩文集「文選(530年頃成立)」にある。…後漢の文学者であり

科学者の張衡(ちょうこう)が詠んだ「帰田賦」には「於(お)は、約264万人と近年増

付(つ)けmedianaNEWS) こうした中、4月2日付け日本経済新聞「春秋」は、

「初めて国書から元号が生まれたことほざけただけ

なく、アジアと日本の文化の流れを大きな目で見つめる契機(きき)にすればいい。「令(れい)WA」を創り上げて行

り、梅の花を愛(あい)でる習(な)わしもまた、海(うみ)を越(こ)えてやって来た。外国人が増え、クロ

す。突然ですが、

「新しい出発です。皆さん頑張(がんば)りましょう!令和を平和(へい)で豊かな時代(じ)代(だい)にして行きましよう!」

「令和」の時代は、少子高齢化、人口減少、人出不

足(あ)が加速(か)して行く一途(い)ち(ち)です。

日本に在留する外国人は、約264万人と近年増

4月1日は、これから新制度の下、アジアの9か国から5年間で約34万5000人の外国人を受け入れて行く改正入管法が施行された日でもあります。

元号は決まりました。5月1日から私たちが

は、「令和(REIWA)」に生き、「令和(REIWA)」を創り上げて行く

皆(みな)さんとの共生(きせい)は、必要不可欠(ふくせ)く・大前提(だいぜんてい)の時代(じ)代(だい)です。

突然ですが、

「新しい出発です。皆さん頑張(がんば)りましょう!令和を平和(へい)で豊かな時代(じ)代(だい)にして行きましよう!」

北原 巖男 (きたはらいわお)

元防衛施設庁長官。元東ティモール大使。現(いま)一社(いっ)社(しゃ)日本東ティモール協会会長。(公社)隊友会

理事